

佐渡米通信

こめ〜る

2020年 07 月号

発行日:2020年7月

編集人:佐渡農業協同組合 営農事業部販売企画課 藤巻・渡辺
jasadoeinoubu20@dune.ocn.ne.jp

田んぼで連日作業中!

6月に入り、田んぼでは畔の草刈りのほか、江(水辺)に生えた草取りの作業が見られます。

佐渡では「生きものを育む農法」で朱鷺の餌場の維持と美味しい米づくりの両立に努めています。除草剤を使わず丁寧に草刈りする事で畔に棲む生きものを活かし、中干しで田んぼが干上がっても端に設置された江に水棲の生きものが避難できる様にしています。



指導内容動画で確認!

6月3日から11日までの間、佐渡米未来プロジェクト「品質向上90」の中干し指導会が行われました。指導会は島内100か所の圃場を対象に行われ、7日間で約700名の生産者が参加しました。6月10日ごろから気温が上がり、茎数の急増が予想されるため、自身の圃場を確認して早めの中干しをするよう説明が行われました。

今年から指導内容を確認したい人などに、YouTubeの「JA佐渡営農指導チャンネル」で公開しています。



自然豊かな「花の島」

佐渡は「花の島」とも呼ばれ、南北の多くの植生が両立しています。この時期はカンゾウや岩ユリ、紫陽花などの多くの花々が楽しめるほか、田んぼや庭先に花を植える人も多く、生活の身近に花が寄り添ってます。



手作りマスクでコロナ予防

6月10日、JA佐渡の女性部から福祉施設に手作りマスクの贈呈が行われました。手作りマスクは、新型コロナウイルスで活動が自粛されている中、社会のために何かできないかと考えた女性部によって、4月から約1か月かけて作成されました。女性部は社会福祉協議会とふれあい福祉会を訪問し、各200枚ずつを手渡しました。

